



2010 年 9 月 21 日

各 位

東京都品川区南大井六丁目 25 番 3 号

日本通信株式会社

代表取締役社長 三田 聖二

(コード番号：9424)

問合せ先 代表取締役専務 C00 福田 尚久

電話 03-5767-9100 (代表)

日本通信、3G も WiFi もコミコミ月額換算 2,494 円のライトユーザ向け新製品を発売

日本通信株式会社（以下、「日本通信」という）は、ノート PC 等で気軽にどこでも高速なインターネットを楽しめる b-mobile シリーズの新製品「Doccica hours150（ドッチーカ・アワーズ 150）」を、2010 年 9 月 24 日（金）より新発売いたします。市場想定価格は 39,900 円で b-mobile 製品を取り扱う全国の一般量販店等でお求めいただけます。

2008 年 8 月に販売開始した b-mobile3G hours150 は、USB データ通信端末に 150 時間分の通信時間があらかじめセットされ、FOMA®エリア内ならどこでも、必要なときに、必要な分だけ、分単位で高速インターネットが利用できることから、個人はもちろん、大企業の部署単位や営業所単位、小規模オフィスでもご好評いただいております。

今回新発売する製品は、この b-mobile3G hours150 にご要望の多かった公衆無線 LAN（WiFi）を使い放題で利用可能にしたものです。b-mobile Doccica hours150（以下、「Doccica hours150」という）を販売店でご購入いただくと、箱の中に USB 3G コネクタ（USB でノート PC 等と接続して使用する 3G データ通信端末）と USB 延長ケーブル、スタートガイドが入っています。パソコンの USB ポートに、USB 3G コネクタを接続するだけで、ドライバや接続ソフトなどが自動的にインストールされます。ユーザは、3G や公衆無線 LAN の認証の違いを意識することなく、ボタンをクリックするという同一操作で、簡単にインターネットへの接続や切断が行えます。購入する際の複雑な契約手続きや面倒な設定等も一切不要です。

Doccica hours150 は、FOMA®エリア内ならどこでも、150 時間分の高速インターネットを、必要なときに、必要な分だけ、分単位で利用することができ、空港、カフェやホテル、東海道新幹線（東京～新大阪間）の N700 系車内および全 17 駅のコンコース待合室では、時間を気にすることなく公衆無線 LAN をご利用いただけます。

本商品の有効期限は、3G データ通信を 150 時間消費するか、或いは初回接続から 480 日が経過するまでのいずれかに達した時点まで*1ですが、更新ライセンスをお求めいただくことで、USB 3G コネクタをそのまま利用して、継続利用が可能です。

*1 公衆無線 LAN のご利用には、3G データ通信の残り時間 30 分が必要です。

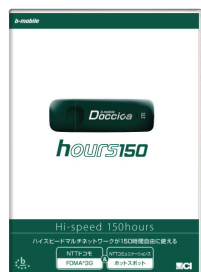
インターネットは、固定ブロードバンドの普及によって生活の一部になっており、家やオフィス以外の場所でインターネットにアクセスするニーズは増々高くなってきています。しかし、携帯電話事業

者が提供する 3G サービスは、定額使い放題プランが中心であり、価格的にも月額 5,000 円～6,000 円前後と、多くの潜在的な利用者にとっては高価なサービスとなっています。もちろん、従量課金方式のサービスも提供されていますが、請求額が気になって使いづらい、というお客様の声も多く伺っています。また、パケット単位で料金を提示されるパケット課金は、実際にいくらかかるのか、ほとんどの方にはわかりづらいものとなっています。

Doccica hours150 は、誰にとってもわかりやすい時間（分）単位で利用でき、ノート PC で 3G データ通信を、毎日 30 分程度利用される方、週に 1～2 回、1 回あたり 1～2 時間程度利用される方、あるいは使う月と使わない月がある方々に最適な製品です。毎日何時間も使われる方には定額使い放題がお得な料金プランですが、家やオフィスでは固定ブロードバンド環境を利用される多くの方々には、出張時や外出時等に利用できるサービスが望まれています。有効期間は最大 480 日間（約 16 ヶ月）となっていますので、週に数回程度の利用頻度であれば、端末も通信も、ISP も全て込みで月額換算 2,494 円です。

hours は、「時間」という意味に加え、「私たちのモバイルインターネット」という意味を併せもっています。データ通信サービスには、従量課金方式で 1,000 円から利用開始ができるものの、パケット課金でウェブブラウジングを数回しただけで定額料金に達したり、安価に利用できるもののエリアが狭かったり、どの通信サービスも、全ての方のニーズを満たせるわけではありません。日本通信は、私たち多くのユーザが安心して利用できる 3G サービスをご提供し、いつでも頼れる、どこでも頼れる通信サービスを、コスト負担を小さくご提供する、「賢約」時代の通信サービスを提供してまいります。

パッケージ写真：



b アクセスのスクリーンショット：



電波状況や接続状況が視覚的に表示されるだけでなく、わかりやすさと使いやすさにこだわったユーザインターフェースとなっています。

型番/JAN コード	BM-DCL1-150H/4560122191179
エリア	3G：NTT ドコモ FOMA®エリア 公衆無線 LAN：NTT コミュニケーションズのホットスポット スタンダードエリア、エクスプレスエリア「東海道新幹線（東京～新大阪間）の N700 系車内および全 17 駅のコンコース待合室」
通信規格	3G：W-CDMA HSDPA /HSUPA 公衆無線 LAN：IEEE802.11a/b/g（エリアによって異なる） ※USB 3G コネクタの場合、規格上の最大理論値は 7.2Mbps/2.0Mbps、公衆無線 LAN の場合、IEEE802.11a/g が 54Mbps、IEEE802.11b が 11Mbps ですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
対応 OS	Windows 7/Vista/XP SP2 以降/Mac OS X 10.4 以降 ※Mac OS は 3G 通信のみに対応、公衆無線 LAN スポットは非対応になります。
その他	microSD カードスロット搭載（SDHC 対応:最大 4GB） ※無線 LAN 接続には、無線 LAN 機能内蔵コンピュータまたは Wi-Fi 規格準拠の無線 LAN アダプター等が別途必要です。

b-mobile Doccica hours150 に関する詳細は、以下の URL をご参照ください。
<http://www.bmobile.ne.jp/dh150/>

以上

※「FOMA」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
※「ホットスポット」は、NTT コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
※表示価格は全て税込みです。
※製品の仕様および価格等は予告なく変更になる場合があります。製品に関する詳細は、
<http://www.bmobile.ne.jp/> をご参照ください。

■日本通信株式会社 会社概要

社名： 日本通信株式会社（大証ヘラクレス市場：9424）

代表者： 三田 聖二（代表取締役社長）

設立： 1996 年 5 月 24 日

事業内容： ●MVNO のパイオニアとして、MVNE および MVNO 事業を展開
●インフィニティケアの名称で法人向けデータ通信サービスを End to End で提供
●b モバイルの名称でインターネット接続商品を提供
●通信電池のコンセプトで機器組み込み型通信サービスを提供
●MVNO 向けに、モバイル・ネットワーク、技術、ノウハウ等を提供

* インフィニティケア、b モバイル及び通信電池は日本通信株式会社の登録商標です。